

## 堺出身の彫刻家・福岡道雄氏の追悼展 「福岡道雄 静かな前衛」を開催します

堺市では、昨年11月に87歳で逝去した堺出身の彫刻家・福岡道雄氏を偲び、本市では初めての個展「福岡道雄 静かな前衛」を開催します。

本展では本市及びその周辺にまつわる風景彫刻や、「何もすることがない」という60年代の問題意識が回帰した文字シリーズ等の作品を展示します。



photo 東泰秀

### 1 日時

令和6年7月6日（土）～令和6年9月1日（日）

開館時間：午前9時～午後6時（最終入場 午後5時30分）

休館日：毎月第3火曜日（期間中は7月16日、8月20日）

### 2 場所

さかい利晶の杜 2階企画展示室・「さかい待庵・無一庵」内（堺市堺区宿院町西2丁1-1）

### 3 観覧料

大人 300円、高校生 200円、中学生以下・堺市内在住 65歳以上 無料

※「与謝野晶子記念館」「千利休茶の湯館」の観覧券で企画展示室にもご入場いただけます。

※「さかい待庵・無一庵」内の見学は別途300円必要（開室時間 午前10時～午後6時）

## 4 展示内容

### (1) 身の回りを見つめて

堺浜の砂を掘ったところに石膏を流しこむことで、意図しない造形が生まれることを発見した「SAND」シリーズの《SAND9》や、河内長野のアトリエ近くにある野池を表した《マサダ池》、野池やダムを訪れ、ヘラ<sup>みみず</sup>釣りに熱中していた体験から着想を得た《逃した鮒 45 センチ》を展示します。

「現代美術として問題にしなくてはならない事は、意外と身近な所にある。逆説的な言い方をすれば、自分の近くにしか存在しない。」<sup>1</sup>福岡氏の作品は、身近なものや場所を題材として扱うがゆえに、鑑賞者と視点を共有しながらも、それらの新たな一面を提示しています。

《SAND9》石膏・砂・紅殻・墨彩色／1957年／堺市蔵

《逃した鮒 45 センチ》ブロンズ、台座／1987年／作家蔵

《マサダ池》FRP／1991年／堺市蔵

### (2) 作家の前衛性

60年代、激動の社会情勢の中で「僕のやっていることは世の中の何の役にも立っていないのではないか」<sup>2</sup>と自問自答した福岡氏は、芸術家の役割を「誰よりも先に時を察知する」<sup>3</sup>こと、先駆的な表現を試みることに見出します。それはさながら炭鉱のカナリアであり、福岡にとっては水槽で暴れる鮒であり、<sup>みみず</sup>蚯蚓の集団自殺でした。

FRP（繊維強化プラスチック）に電動彫刻機でひたすらに文字を刻んだ《何もすることがない・7月（KUSAMA）》や、かつてピンク色のバルーンを作っていた60年代を振り返り、現代に「全く異質な不安と危惧を感じ」<sup>4</sup>制作され、「何もすることがない」という言葉が刻まれた《ブラックバルーン》を展示します。

《反》FRP／1996年／作家蔵

《何もすることがない・7月（KUSAMA）》FRP・木／1999年／ギャラリーヤマキファインアート寄託

《ブラックバルーン》FRP・ロープ／2002年／作家蔵

《怒る<sup>みみず</sup>蚯蚓》FRP／2005年／作家蔵

《何もすることがない・7月（KUSAMA）》

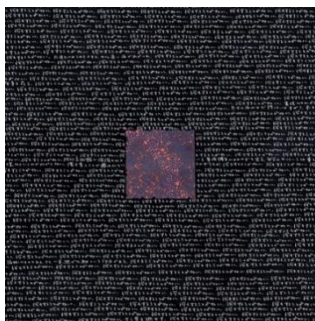


Photo 福永一夫

《ブラックバルーン》



Photo 福永一夫

### (3) 茶の湯文化の息づく地で

「昔からあった床の間は、世界のどこの国にもない大いに自慢できる異次元の空間であり、私設美術館だ。」<sup>5</sup>エッセイ集『つくらない彫刻家』にて、床の間の芸術的豊かさについて言及した一節があります。企画展にあわせて、陶芸家であるご息女からの依頼で制作された茶道具（茶箱と木箱）を、当館の茶室「無一庵」に展示します。

※別途 300 円が必要です。

#### ①さかい待庵ツアー（さかい待庵・無一庵をスタッフがご案内します。）

参加時間：午前 10 時、午前 11 時、午後 1 時、午後 2 時、午後 3 時から

所要時間：約 45 分

定員：各回 10 名（先着順）

予約方法：前日までに以下の URL またはお電話にて予約してください。

当日は、1 階受付にてお申し込みください。

[\(https://www.sakai-rishonomori.com/taian-entryform/\)](https://www.sakai-rishonomori.com/taian-entryform/)

#### ②見学のみ

見学時間：午後 0 時、午後 4 時、午後 5 時／各 00 分、20 分、40 分 から

所要時間：15 分

定員：各回 5 名（先着順）

予約方法：当日、1 階受付にてお申し込みください。

## 5 関連企画

### (1) 立礼茶席にて作品をイメージした和菓子をご用意

7 月は丸市菓子舗、8 月は宝泉菓子舗による和菓子を提供いたします。

期間：令和 6 年 7 月下旬／8 月中旬を予定 ※詳細は後日、以下の URL で発表します。

[\(https://www.sakai-rishonomori.com/exhibition/fukuokamichio\\_20240706/\)](https://www.sakai-rishonomori.com/exhibition/fukuokamichio_20240706/)

定員：各回 20 名（先着順）

予約：前日までに以下の URL またはお電話にて予約してください。

当日は、1 階受付にてお申し込みください。

[\(https://www.sakai-rishonomori.com/ritsurei-entryform/\)](https://www.sakai-rishonomori.com/ritsurei-entryform/)

### (2) 対談企画

「福岡道雄 つくらない彫刻家」展をご担当された国立国際美術館主任研究員の福元崇志氏と株式会社 studio-L 代表として、地域社会のコミュニティデザインに携わる山崎亮氏に、福岡道雄作品の魅力や、現代美術を後世に残していくことに関して対談していただきます。

日時：令和 6 年 8 月 31 日（土） 午後 2 時～午後 3 時 30 分

場所：さかい利晶の杜

登壇者：福元 崇志（国立国際美術館主任研究員・「福岡道雄 つくらない彫刻家」展担当）

山崎 亮（株式会社 studio-L 代表）

定員：先着 40 名（参加無料）

予約：7月6日（土）から予約可能です。8月30日（金）までに以下の URL から予約してください。

<https://reserva.be/sakairishonomori>

※空きがあれば当日受付あり。

## 6 主催・協力

主催：さかい利晶の杜指定管理者 SAKAI 縁プロジェクト

協力：堺市

## 7 福岡 道雄氏の略歴

1936 年大阪府堺市に生まれ、中国にて幼少期を過ごし終戦後帰国。堺市立工業高等学校を卒業後、大阪市立美術研究所にて保田龍門らに会う。関西を拠点にしながら、国内外の美術館や画廊にて作品を発表する。2005 年「つくらない彫刻家」を宣言、独自の表現方法を晩年まで模索し続けた。

1936 大阪府堺市に生まれる

1955 堺市立工業高等学校建築科卒業

1958 白鳳画廊（大阪）にて初個展《SAND》シリーズを発表

1977 第 8 回中原悌二郎賞優秀賞受賞

2005 個展「腐ったきんたま」を最後の個展とし、「つくらない彫刻家」を宣言

2014 ヨコハマトリエンナーレ 2014（横浜美術館）に出品

2017 回顧展「福岡道雄 つくらない彫刻家」国立国際美術館

2019 Art Basel Hong Kong（香港）に出品

2023 11 月 15 日逝去 享年 87 歳

主著：『何もすることがない 彫刻家は釣りにでる』（1990 年）、『つくらない彫刻家』（2012 年）

<sup>1</sup> 『何もすることがない 彫刻家は釣りにでる』プレーンセンター、1990 年、p129

<sup>2</sup> 産経新聞「静かなアトリエ⑦」／2006 年 8 月 28 日

<sup>3</sup> 『つくらない彫刻家』プレーンセンター、2012 年、p113

<sup>4</sup> 『つくらない彫刻家』プレーンセンター、2012 年、p 24

<sup>5</sup> 『つくらない彫刻家』プレーンセンター、2012 年、p187

問い合わせ先	(イベントについて)
	担 当：さかい利晶の杜 電 話：072-260-4386（18 時まで） ファックス：072-260-4725
	(本市の文化振興について)
	担 当 課：文化観光局 文化国際部 文化課 電 話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174